

小学生(低学年)向け



『給食室のいちいち』

大塚菜生／文 イシヤマアズサ／絵
少年写真新聞社 ¥1,700 (税別)

みどり小学校の栄養士、山川さんと7名の調理員は、450人分の給食を作る。身支度や検品、調理の細かな工程も描写され、安全で栄養満点の給食が子どもたちに届くまでがよく分かる。おいしそうな香りが漂ってくるような絵も見どころ。



『けんかのたね』

ラッセル・ホーバン／作 大野八生／絵 小宮由／訳
岩波書店 ¥1,300 (税別)

お父さんが仕事から帰宅すると、猫と犬、4人の子どもたちが大げんかの真っ最中。理由をたどると、けんかのたねは意外なところにある…。果たして仲直りはできるのか。オチに思わずクスッとしてしまう、ユーモアたっぷりのお話。



『ここがわたしのねるところ』

レバッカ・ボンド／文 サリー・メイパー／作画 まつむらゆりこ／訳
福音館書店 ¥1,300 (税別)

ぬくもりのある刺しゅうで描かれた世界各国の子どもたちのねるところ。ハンモックや屋上など各地域の気候に合わせた寝室の特徴や、ぐっすり眠るための工夫を知ることができる。心地よいリズムの言葉でつづられ、安らぎにあふれた一冊。



『だいたいところのたね』

久保秀一／写真 大久保茂徳／監修
ひさかたチャイルド ¥1,300 (税別)

子どもたちが大好きなポップコーンやいちごはどやうやってできる? いちごや金時豆、ゴマなど、台所にある野菜や果物の種を土に蒔き、実がなるまでを写真で紹介する。観察する楽しさと、科学的思考を育む一冊。食育の本としてもおすすめ。



『大ピンチずかん』

鈴木のりたけ／作
小学館 ¥1,500 (税別)

牛乳がこぼれた、ガムを飲み込んでしまったなど、子どもの日常に起こる大ピンチを、大ピンチレベルと5段階の「なりやすさ」で分類し、イラストと共に紹介する。子ども一人で読んでも、親子一緒に読んでも楽しい絵本。



『「はやく」と「ゆっくり」』

張輝誠／文 許匡匡／絵 一青妙／訳
光村教育図書 ¥1,400 (税別)

小学生のぼくは、両親に朝から晩まで「はやくはやく」とせかされる。祖父母の家に行くと、今度は「ゆっくり ゆっくり」と、食べ物の味や自然を感じてほしいと言われる。両親と祖父母の間にはさまれ困ったぼくが取った行動とは。



『ふじさんにつぼんいち!』

佐野亮／監修 峯村温／他写真
ひさかたチャイルド ¥1,300 (税別)

日本一高い山、富士山に登ると、途中で木はなくなり、草が生えなくなる。なぜだろう? 地面にたくさんある石は穴だらけ。どんな種類の石? 富士山の不思議や魅力、山の成り立ち、生息する動植物などを写真とわかりやすい説明で伝える。



『へんしん』

桃山鈴子／作 井上大成／解説・監修
福音館書店 ¥1,400 (税別)

昆虫画家の作者が3種類のチョウ、モンシロチョウ、ナミアゲハ、ウラギンシジミの一生をじっくり観察し、点で描いた美しい絵本。小さな卵から、色も形も違うイモムシになり、脱皮を繰り返してチョウに変身するまでがよくわかる。

その他のおすすめの本

『いもうとなんか知らない』

ロイス・ダンカン／作 平澤朋子／絵 小宮由／訳 岩波書店 ¥1,300 (税別)

『ウマと話すための7つのひみつ』

河田棧／文・絵 偕成社 ¥1,300 (税別)

『オハヨウどろぼう』

おのりえん／文・絵 理論社 ¥1,200 (税別)

『かみなり』

妹尾堅一郎／監修 音羽電機工業「雷写真コンテスト」／協力 ポプラ社 ¥1,600 (税別)

『ことばコレクター』

ピーター・レイノルズ／作 中川千尋／訳 ほるぷ出版 ¥1,500 (税別)

『ゾウのじょうおうさま』

ジュン・スモールズ／文 しもかわらゆみ／絵 あまがひひろみ／訳 イマジネーション・プラス ¥1,700 (税別)

『どうしよう』

浜田桂子／作 理論社 ¥1,450 (税別)

『ともだちはしおりのこぶた』

真山みな子／作 山西ゲンイチ／絵 金の星社 ¥1,300 (税別)

『やまの動物病院』

なかがわちひろ／作・絵 徳間書店 ¥1,700 (税別)

『よるのあいたに…』

ポリー・フェイバー／文 ハリエット・ホプデイ／絵 中井はるの／訳 BL出版 ¥1,600 (税別)

『ららんランドセル』

モリナガ・ヨウ／著 めぐるむ ¥1,600 (税別)

『わたしがいいじわるオオカミになった日』

アメリ・ジャヴォー／文 アニック・マソン／絵 ふしみさを／訳 バイインターナショナル ¥1,600 (税別)